

FirstGlobal メッセージ

siesta

2016.3月号 vol.154

発行元：〒540-0012

大阪府中央区谷町1-6-4

天満橋八千代ビル10階

(株)ファーストグローバルコンサルティング

代表取締役

戦略人事コンサルタント 品川典久

TEL 06-6910-3007 FAX 06-6910-3008

Email shinagawa@1gc.jp

URL <http://www.1gc.jp>

今月のトピックス

ラポールと身体知

今回は「あなたは、なぜ、つながれないのか ラポールと身体知」(高石宏輔 春秋社)です。この世の中で、周囲の人とのコミュニケーションについて、全く悩んでいない、問題ないと感じている人はいないと思います。いらっしゃれば、教えていただきたいです。それぐらい、この情報化が進んだ世の中であっても、クライアント先などでの問題点として真っ先に挙がるのが、「コミュニケーションの欠如、不足」です。この本の著者の高石さんは仕事としていわゆる風俗店のスカウトマンを経験し、路上ナンパ講習なども経て、カウンセラーとして活動されているとのこと。「風俗」とか「ナンパ」と聞くと、眉をひそめられるかもしれませんが、著者自身が様々な経験の中で得た「コミュニケーション」の技術について述べています。書店で表紙の「ラポール」という言葉にひかかり、手に取りました。私もコミュニケーションスキルの勉強を続けていますが、その中の基本として「ラポール」の重要性というのがあります。勉強している中で、どうしても感覚的であったり、抽象的な部分があるのですが、この本を読んだら、どれもこれも、師事する先生がおっしゃったことばかり出てきます。読み進めて一気に共感を覚えてしまいました。ただ、その手の分野に興味のない方が読むと、もしかしたら全く共感できず、全く面白くないかもしれません。現にAmazonのレビューは、いいと悪いが両極端です。なので、お薦めとまではいきません。ちなみに文中に出てきた共感したくんだり「自分がした動作の中に今の自分が表れていて、その動作によって他人に対して影響を与えてもいる。」「反発はもちろん抵抗であるが、迎合もまた一つの抵抗である。」「怒りは自分の中にある見たくない部分を他人の行いを通じて見せられたときに生じることもある。相手に自分を投影して、本人はその人物を自分と同じだと思いつむ。」人に対して怒るのは、相手を怒るのではなくて、相手に映し出された自分を怒っているということ。感覚的なお話で恐縮です。どなたにもお薦め、というわけではありませんので、念のため。

< next >

今年も3月6日の篠山マラソンに向けて走り始めました。
何十年ぶり、という寒波で少しお休みもしていますが。
あと1ヵ月、追い込みます。